

山元町指定文化財
「大條家茶室 此君亭」
修復を終え、
新たな姿で公開開始



令和6年11月24日、仙台藩ゆかりの茶室として唯一現存する「大條家茶室 此君亭」の一般公開が始まりました。

公開開始当日は、記念式典を挙行し、奏遊会による琴の記念演奏や坂元小学校4年生児童による「坂元こども神楽」が披露されたほか、文化財建造物の専門家・山形大学永井康雄教授の基調記念講演などもあり、町の貴重な文化財の修復完了と公開開始を祝いました。

また、式典後は、茶室内部の見学会や抹茶の振る舞いがあり、約400人の多くの来場者でにぎわいました。

歴史と文化の薫る町の新たな名所となるよう、茶室の一般公開とともに積極的に活用を図っていきます。

問 歴史民俗資料館
☎ 37-0040

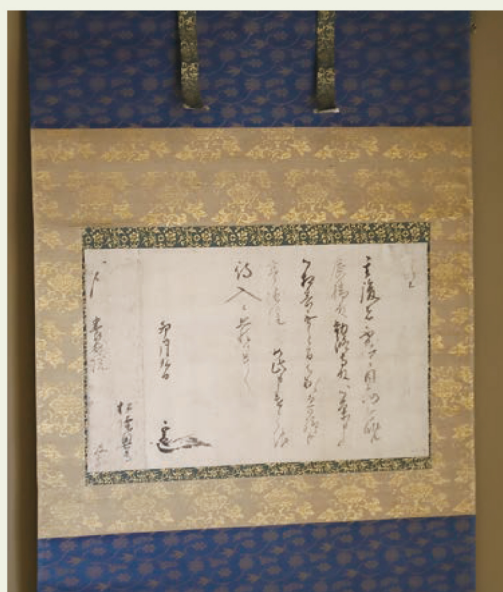


- 1 大條家茶室 此君亭 と 庭園
- 2 一般公開を記念するテープカット
- 3 4 茶室の見学状況。公開当日は約400人の来場者でにぎわいました
- 5 抹茶の振る舞いで茶室公開を祝う奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊と橋元町長
- 6 式典で披露された坂元こども神楽(祝舞)。中浜神楽保存会と坂元神楽保存会の皆さんにもご協力をいただきました
- 7 奏遊会による琴の記念演奏
- 8 茶室公開を記念して、サンドウィッチマンの伊達みきおさん・富澤たけしさん、伊達政亮さん(伊達みきおさんのお父様)からお祝いの花をいただきました

茶室の公開に合わせ、茶室関連事業への
寄付金と掛軸を寄贈いただきました

11月11日、北海道伊達市の「伊達山元会」と会員11人から茶室関連事業への寄付金15万円をいただきました。また、11月18日には町区の阿部美代子さんから「伊達政宗書状(軸装)」などの貴重な掛け軸4点を寄贈いただきました。

寄付金は茶室関連事業に、掛軸は歴史民俗資料館の展示などで活用します。



寄贈いただいた「伊達政宗書状(軸装)」
慶長15(1610)年4月9日の政宗直筆の
書状掛軸は茶室の公開初日に披露しました